

『美術教育学-美術科教育学会誌』 第 43 号投稿案内 web 版

学会誌編集委員長/研究部副代表理事 宇田秀士 (奈良教育大学)

本学会誌『美術教育学』第 42 号は、投稿者と査読者の「格闘・錬成」を経て、ようやく刊行されました。皆様、本当にお疲れ様でした。42 号では 38 編の投稿論文のうち 24 編の論文が掲載され、採択率は 63.2%になります。昨年度の第 41 号と比べ 17.4%投稿数が減って掲載数も 14.3%減、採択率は微増でした。1 年間の活動を振り返り、投稿システム、手引き、査読体制などの点検を行い、今年度 43 号への投稿のお誘いを致します。

■ 第 43 号における重点的な取り組み

1. 二重投稿防止等の研究倫理への取り組み強化

大学美術教育学会、日本美術教育学会など美術教育関連学会の諸団体と連携し、各学会誌に同一内容相当の論文が投稿されていないか、研究倫理が守られているか等の確認体制を強化しています。今回から、この体制のさらなる強化のため、「[投稿論文の関連論文](#)、[関連著作リスト](#)」を投稿時に提出いただくことになりました。本学会誌への投稿論文と他学会誌への投稿論文が継続研究となっている場合を想定し、〈本学会誌投稿論文内容と他学会誌投稿論文内容との差異の報告〉、本学会誌投稿論文に関わる〈既発表の論文や著作のリスト〉を作成いただくこととなります。査読者は、この「報告やリスト」をもとに査読を行い、二重投稿に該当するか、研究倫理が守られているか否かを判定します。関連論文や著作がない場合には、「関連論文・著作無し」として提出下さい。

また、これとともに投稿者は、事前に指導教員や本学会誌論文について経験豊富な学会員に相談いただき、二重投稿事案に抵触しないように十分に留意して投稿いただきますようお願いいたします。

2. 英文概要校閲の投稿者責任の明確化

この数年と同様に、英文概要の校閲は投稿者の責任において行うことを義務化し、かつてのように編集委員会での業者一括発注を行っていません。詳しくは掲載決定後の入稿要領でお知らせします。

3. 電子ジャーナル無料公開システムサイト J-Stage への早期掲載に向けての取り組み

J-Stage への早期掲載のために、論文執筆者自身に「引用文献」素案を作成していただくようにしています。これも掲載決定後の入稿要領でお知らせします。なお第 40 号までの論文は全て J-Stage に掲載されています。研究や実践にお役立てください。[https://www.jstage.jst.go.jp/browse/aaej/40/0/ contents/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/aaej/40/0/contents/-char/ja)

■ 投稿要領

1. 投稿資格

- (1) 単著の場合、著者が本学会の正会員であること
- (2) 共同執筆の場合、筆頭著者が正会員であり、かつ当該論文著者の半数以上が正会員であること
- (3) 正会員については、投稿時までに会費を完納していること

2. 論文の作成

論文の作成にあたっては、美術科教育学会の諸規程を参照の上、ルールに則った投稿を心がけてください。以下の様に学会ウェブサイト <http://www.artedu.jp> から各種案内(6 月半ば迄に更新予定)にアクセスできます。

- (1) 「[学会誌投稿規則](#)」 学会ウェブサイト > 学会概要 > 会則・諸規程

(2)「投稿論文作成の手引き」 学会ウェブサイト > 投稿論文募集

(3) フォーマット 学会ウェブサイト>投稿論文募集原稿見本 (原則 20 字 x40 行 x 2 段), Word 用のフォーマットなどをダウンロードできます。※前号と異なる箇所があります。必ず最新のものをお使い下さい。

3. 論文投稿受付期間

2021 年 7 月 1 日(木)10:00 から 8 月 31 日(火)17:00 まで。 *システム上, 左記期間以外は受け付けできません。

4. オンライン投稿の手順

4-1. システム利用条件

(1)会費納入 当該年度の会費まで納付が完了していない場合、システム上で投稿を受け付けることができません。会費の入金処理には 2~3 日かかりますので、投稿までに十分余裕をもってご入金ください。

(2)新入会者の投稿 本年度入会で投稿をご希望の方は、至急、入会申込書を送付し、本部事務局支局(ガリレオ社)にお問い合わせの上、仮の会員番号とパスワードの発行を受けてください。投稿締め切り間際での手続きですと、投稿不可となる可能性があります。

4-2. 投稿データ作成

ファイル容量が大きすぎてシステムにアップロードできない場合は、貼り付けている画像の容量を画像編集ソフト等で縮小するか、PDF ファイルの容量を縮小するなどの作業を行ってから提出してください。

(1) 査読用原稿 Word または PDF。「投稿論文作成の手引き」、フォーマットに基づいて作成。

(2) 図・表 原稿内に組み込めない場合には別途添付。複数ファイルは Zip フォルダ等で一つにまとめる。

4-3. 会員 ID とパスワード

投稿システムをご利用になるには、会員管理システムと同じ会員 ID およびパスワードが必要です。不明な場合は、会員管理システムか投稿システムのログイン画面《ログインできない方はこちら》ボタンより、パスワードの再設定もしくは照会手続きに進んでください。

4-4. 操作手順

学会ウェブサイトの投稿論文募集ページの最下部にある《オンライン投稿システムへログイン》のリンクをクリックし、画面に従って会員 ID、パスワードを入力してください。

ログインが完了すると図 1 のような画面になります。ログイン完了後、「投稿案件」の下にある《『美術教育学』第 43 巻(号) 論文投稿》をクリックしてください。

さらに、図 2 の画面で、《Option-2》の下にある《新規/追加投稿》のボタンをクリックしてください。その後、

図1 ログイン完了画面

図2 投稿へ進むための画面

画面の指示に従って投稿データをアップロードしてください。

5. 掲載料

基準頁数(12 頁以内)の掲載料は、24,000 円で、12 頁を超えた場合は、1 頁につき 5,000 円の追加料金があります。また上限は 18 頁です。校正を経て頁数が確定した投稿者に連絡しますので、期日までに納入してください。[おおよそ 3 月初旬に本部事務局支局 担当から行います。](#)

6. 論文投稿後のおおよその日程

[9 月上旬] 理事会へ受理報告、査読委員へ査読依頼

[10 月中旬] 査読委員からの判定結果期限(一次)

[10 月下旬] 投稿者へ査読結果通知。上記の査読判定(一次)により「再査読」となった論文については、別の査読委員に再査読を依頼し、査読日程が約 1 か月追加されます。

10 月下旬から 2 月末の日程は、査読結果により変わります。

[3 月上旬] 編集委員会の最終校正→印刷

なお、「新型コロナ対応」で、査読や刊行に関わる委託会社(本部事務局支局)の勤務体制の変更があり、上記のスケジュールより遅れ気味になることが予想されます。ご理解のほどよろしくお願い致します。